



くがはら

発行：地域力推進久が原地区委員会
編集：地域情報紙「くがはら」編集委員会
事務局：大田区久が原特別出張所
〒146-0085 大田区久が原4-12-10
TEL(3752)4271 FAX(3752)4514

久が原地区管内

<人口> <世帯数>
男 14,170人 13,557世帯
女 14,868人
計 29,038人 平成30年12月1日現在

題字：三木 兼吉

http://www.city.ota.tokyo.jp/chofu/ts_kugahara/jouhoushi/index.html

VOL.115・since 1990

新年のごあいさつ



平成31年の輝かしい新年をお迎え、誠にありがとうございます。

昨年は大型台風の襲来により「ふれあい久が原大運動会」は開催中止となりましたが、その他の行事は天候に恵まれ、盛会に実施できました。

新しい久が原マップの内容をさらに深めるために、久が原地区地域力推進会議では

久が原地区自治会連合会 会長 小原 洪一

「言い伝えから知る久が原の歴史」「地域福祉に関する取り組み」をテーマとして取り上げました。さらに本年3月には「まちあるき」をおこない、まちの新しい発見を楽しむ予定です。

本年は元号が平成から新しい元号に代わる記念となる年です。皆様と一緒に安全で安心して暮らせるまちづくりに努めます。

『二十歳を迎えての私の心情』

片山 春菜



二十歳を迎えた今、私が心に抱えている事は、そばで支えてくれている両親の存在や生まれ育った「久が原」という温かい町、心が自然と通い合っている町の人々の存在があったからこそ「今の私」が形成されていると改めて実感しています。成人を迎えた今、人生の一区切りとして、私に関わった全ての人々に心からの感謝の気持ちを伝えたいと感じています。

また、これからの日々を実りある時間へと変えていけるよう前進し、社会に貢献のできる人材を目指し、皆様に恩返しできるよう努めていきたいと思います。今までの20年間、温かく見守ってくださった方々、本当にお世話になりました。これからもどうぞよろしくお願いたします。

成人の日によせて

『19歳→20歳→大人』

菊池 圭宏

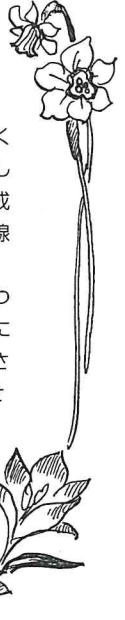
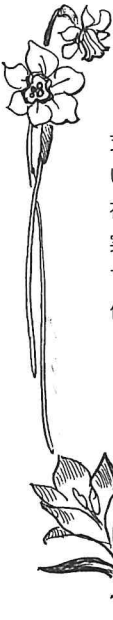


三月生まれの僕はまだ19歳だが、今年度成人する。

僕の中の「成人」とは大きな線で、その線を超えると今まで多くのことから身を守ってくれていた「10代」という防具が剥がされてしまう感じがする。10年前の石ころを蹴って登下校していた僕には成人になっている自分が想像できなかったが、あと少しで僕もこの線を超えることになる。

しかし19年生きてきて確実に言えることはそんな自分も少しずつ成長しているということだ。例えば、最近缶コーヒーを飲むようになった。その缶コーヒーはちょっと苦くてちょっと甘いが昔より良さが分かってきた。他にも、小さいことで悩んで、小さいことに幸せを感じられるようになって来た自分がある。楽しそうにしている子供を見るとほほ笑んでいる自分がある。この感情は自分が成長したからこそ生まれる感情なのだと思う。

僕はまだまだ成長すると思う。そして今年度に「成人になる」という大きな成長をする。とても楽しみだ。



大田区シニア連「輪投げ大会」3位入賞

久が原のシニアクラブ (5回シリーズ)
第1回 久が原東自治会
東寿会は現在、会員146名。「おどろきカラオケ」「輪投げ」「ブランドゴルフ」「手話ダンス」のサークルがあり、区の大大会に出場するため、それぞれ熱心に活動しています。また、年3回、誕生会が開かれ、講師を招いての講義や体操があり、その後の手話ダンス、手品、カラオケなどで懇親を深めます。「東寿会通信」も発行しており、現在223号を編集中です。内容は、総会や誕生会の報告、熱中症対策、交通安全について等、多方面にわたります。
会長の小川さんは、「フレイル(高齢期に心身の活力が低下することを予防し、健康寿命を延ばすためには、運動、栄養、社会参加が大切です。仲間を増やし、楽しく過ごしましょう。）」と、おっしゃっています。
(本間 良子)

『おいしい～』って
言ってみませんか

食育から社会を考えよう

『食育』と聞くと、子どもの話と想像する方が多いかもしれません。確かに平成17年に制定された食育基本法には「食育とは教育の3本柱、知育・徳育・体育の基礎となるべきもの」と位置づけられています。しかし、関東中央病院の栄養管理室阿出川國雄室長によれば「命は食にあり、食育は年齢にかかわらず誰にでも重要」なのだそう

過度の飲酒量を守り、過剰な塩分を控え、睡眠を確保し煙草を控えること、定期的に運動をすることは誰もが心がけた理想の健康的習慣ですが、さらに阿出川さんは、ニコニコしたりワクワクするような明るい心の健康習慣に『メンタルビタミン®』と名付けています。たとえば食事の時に発する「おいしい」「ごちそうさま」「ありがとう」などの前向きな言葉、これらは食べる人にも食べさせる人にも素晴らしい効果を発揮する栄養素で、笑



“社会を明るくする運動”
久が原地区集会

顔でおいしく食事をいただくことは明るい社会の基礎である、と話されました。実際に口に出すには少し勇気がいるかもしれませんが、食事の時にはぜひ余裕のある心で「おいしい」って言ってみませんか。

(岡田久美子)

たのしい地域の

異業種交流



設立のころは…

久が原工場懇話会は昭和13年に創立されました。その後太平洋戦争がおこり、徐々に戦火が拡大し、国家総動員法が出来たりした時代に、久が原地区や池上の一部で物を生産している会社の経営者が資材等情報の交換場を設け、お互い切磋琢磨して会社を発展させるのを目的として活動してきました。

その後は…

戦後は敗戦で何もかも無くなった世の中で、日本の復興に立ち上がった池上近辺で会社を営む経営者が入会してきました。今では異業種交流の場としてお互い知り得た情報を交換して各自の会社の運営に役立てています。

現在の活動内容は…

会としては総会・趣味の会（魚釣りやゴルフ等）・納涼会・忘年会・新年会を開催していますが、過去の新年会では8年連続して毎年「お琴の生演奏」を拝聴しながら一献傾ける優雅な夕べを過ごした時もありました。昨年の総会は80周年を記念し、江戸時代から続く湯河原の古い由緒ある温泉宿で一泊して温泉と食事を楽しみながら過ごして来ました。

今後、当会に入会して交流したい希望者がおられましたら、是非お声をおかけください。

久が原工場懇話会 会長
理化工業株式会社 会長 保知 輝幸

イベント情報

- ◆久が原東自治会合同新年会
【開催日】1月6日(日)13:30～
【場 所】久が原東部八幡神社社務所
- ◆久が原西自治会新年会
【開催日】1月12日(土)13:00～15:00
【場 所】久が原会館
- ◆久が原西部八幡神社「とんど焼き」
【開催日】1月14日(月・祝)12:00～
【場 所】久が原西部八幡神社
- ◆久原小学校くがはら冬まつり
【開催日】1月20日(日)10:00～12:00
【場 所】久原小学校
- ◆道々橋自治会初詣新年会
【開催日】1月26日(土)11:00～
【場 所】道々橋八幡神社
- ◆ヒルズ久が原自治会震災訓練
【開催日】2月17日(日)9:00～
【場 所】ヒルズ久が原全域
- ◆青少年子どもレク大会
【開催日】3月2日(土)9:30～
【場 所】大森第十中学校

〈問い合わせ先〉久が原特別出張所
3752-4271

〈おわび〉

第114号「久が原のものづくり17」の一部に誤りがありました。
(誤)株式会社フォレスト
(正)有限会社フォレスト
お詫びして訂正いたします。



防災活動拠点訓練を実施!

～できてないことがこんなに!!～



11月4日(日)に、自治会関係者等約150名の参加により、訓練を実施しました。実際の災害を想定し、地区で初めて、管内の5自治会本部と学校防災活動拠点本部2校(久原・松仙小学校)を同時に立ち上げました。両校では、避難者の受入れ、トイレの設置、避難所ルールの決定等、避難所を運営する訓練を行いました。同時に、自治会本部から寄せられる被害情報(掲示板等104か所に掲出)に対して、個別に対応を決定する訓練も行いました。訓練後には、気づいた点や課題など、活発な意見交換がありました。

防災活動拠点事務局

当日は松仙小、消防団、消防署、久が原西自治会、道々橋自治会、各市民消防隊、各自治会女性部と皆さんの協力のもと訓練は始まりました。事前にはトランシーバー訓練もしていましたが、始めてみれば拠点本部開設キットが見あたらず、避難所開設前の点検作業に手間取りました。本部で指示を出してあるつもりでいても、伝わっていなかったりと、ドタバタで訓練が始まりました。自治会メンバーもすぐに区役所職員を探してしまいましたが、実際の避難時には鍵を持って最初に駆け付ける自治会メンバーだけで運営を開始しなければならないことが、訓練を通して身をもって体験できるいい機会になりました。

備蓄倉庫にある食料品を含めた備品を確認していても、各自で用意しておかないとならない備品の多さ、大切さを痛感した訓練でした。最低限度の非常用家庭備蓄品を各自で用意しておくことが、何より大切です。

松仙小学校防災活動拠点本部長 石井 均尚

平成 30年 11月 4日 (日)
会場：久が原特別出張所・久原小・松仙小・各自治会事務所



久原小学校防災活動拠点本部



車付きタンカ組立

【編集後記】

あけましておめでとうございます。新年を迎え、元号が代わる記念の年です。皆様に読みやすい情報をお届けできるよう、編集委員一同、心掛けていきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

種田 なおみ